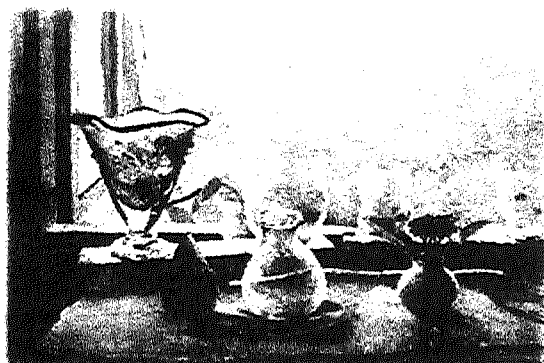


仙台ターミナルケアを考える会

平成27年度 特別講演「生と死のセミナー」



生きることは死に向かって歩むことである。しかし、その死がどのような死であるかによって、死者本人にとっても、そして死者以外の人々にとっても、死の意味は異なってくる。

本会の活動は、癌患者とそれを取り巻く人々の問題を考えることから出発している。それは、「予期せる死」をめぐる問題である。それに対して今回の講演では、その対極にある「予期せざる死」をめぐる、本人および周りの人の「死の受容」を検討しよう。

特に、東日本大震災による死者は、周りの人たちにどのように語り掛け、どのように受容されたのだろうか。それを通して、「予期せざる死」への理解を深めたい。

とき 平成27年**5月30日**(土)

14:00～15:30

ところ 仙台市医師会館・2階多目的ホール
(地下鉄・河原町駅、北口より)

※駐車場はありません、公共交通機関をご利用下さい

参加費 500円 (当会会員は無料)

「人は死をどのように受け入れるか？」

〈予期せる死／予期せざる死をめぐる〉

講師・海野 道郎(うみのみちお)氏

東北大学名誉教授・前宮城学院女子大学学長

主催：仙台ターミナルケアを考える会

事務局：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2

みやぎいのちと人権リソースセンター 2F (但し毎週水曜日 13～16時)

TEL・FAX 022-293-3275 E-mail: t-care@poem.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://st-care.sakura.ne.jp/>